

ガイドライン

静岡県卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策(7月10日版)

緊急事態宣言が解除され、新しい生活様式がスタートしました。静岡県卓球協会としても、大会開催に向けて「新型コロナウイルス感染症対応」を作成しました。このガイドラインは日本卓球協会が発表したガイドラインを参照して作成したものです。

ここに述べる感染症対策は、現段階で得られている情報を基に作成していますので、流行状況に応じて変更し改訂して行きます。会員の皆様には常に最新版での感染症対応をお願い致します。

このガイドラインは、主催者、参加者が共に協力して行わなければ実施出来ない内容です。力を合わせて新型コロナウイルス感染症に打ち勝って行きましょう。

※静岡県卓球協会主催大会における対策 追加(1-⑩ と 2-⑤)の項目)

1-1 大会出場者、関係者への留意事項

- 1-① 大会は静岡県、静岡市の感染防止策に基本的に応じた開催とする。
- 1-② 大会当日の朝に、
 - ・平熱を超える発熱(おおむね 37.3度以上)
 - ・咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・倦怠感(だるさ)を感じる。
 - ・嗅覚、味覚の異常などの症状がある場合には大会に参加しない。また2週間以内に県外へ外出または県外の方と接触された方は、特に自分の体調を確認した上で参加する事。
- 1-③ 大会参加者を把握する為、大会申し込み書にある監督、コーチ(アドバイザー含む)、選手に変更がある場合は、必ず本部に申し込み書の訂正を含め手続きを行う事。
- 1-④ 大会(講習会)会場へは、来場者全員マスクを装着しての入場とする。
- 1-⑤ 大会会場への入場前に、入場者は体温計による検温とアルコール消毒を実施する。検温で「37.3度」以上の測定値となった場合には会場への入場を制限する(見学も不可)。また高校生以下については学校登校時の対応と同様、自宅で検温し保護者の承諾(押印)を得た書類等を提示し、検温したと見なす方法を採用する場合もある。
- 1-⑥ 当面の間、会場入場者は大会役員と監督、選手のみとし無観客とする。但し高校生以下の大会の場合のみ、顧問(副、外部顧問含む)の先生、外部指導者、必要最小人数の保護者についての入場は認める。また選手応援に来られる関係者には来場自粛をお願いする。
- 1-⑦ 更衣室については密にならないよう各自が自重して使用する事。目安としては5名以上にならない様に各自配慮する。シャワー室は使用しない事。
- 1-⑧ 更衣室、トイレ等使用後も含め小まめに手洗いをする事。各自においては自前のタオルを持参し、自分以外の人と、タオルの貸し借りが無い様にする。
- 1-⑨ 2時間に1回程度、会場の換気をする。(試合の途中でも中断する。)

1-⑩ 観客席は隣接を避け、一定の間隔を空けて使用する事。(1席または1人分空ける。)

1-2 競技に関する事項

- 2-① 競技中は出来るだけ大きな声を出さないようにする。
- 2-② ゲーム開始、終了時の選手同士または味方ベンチ選手との握手、タッチは行わない。
- 2-③ ゲーム中を含め、卓球台で手を拭いたりしない事。
- 2-④ 自分がゲーム中以外はマスクを着用する。(審判時もマスクを装着する。)
- 2-⑤ 団体戦でベンチに入る選手同士の隣接は避け、一定の間隔を空ける事(目安は1メートル以上)。**

1-3 大会終了後

- 3-① 大会参加終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、静岡県卓球協会事務局に対して、速やかに濃厚接触者の有無等も含め連絡する事。
- 3-② 3-①の連絡を速やかに行える様、参加チームの責任者または当日のリーダーは、自チームの当日の参加者(自チーム関係者全て)を念のため把握しておく事。